

赤十字
サポーター1号



西京銀行取締役頭取
平岡 英雄

昭和31年広島県生まれ。その後宇部市に転居。小野田高校、広島大学卒業後、昭和53年山口相互銀行（現西京銀行）入行。支店長、本部部長を経て平成17年取締役就任。平成22年代表取締役頭取就任。

未来に向けて

平成25年4月に「さいきょう復興支援定期」を発売し、お預けいただいた総額の0.01%相当額（当行が拠出）と窓口に寄せられた募金を日本赤十字社に寄付し、被災者への義援金と、日赤の救護等の活動資金としてお贈りしたことが縁で、県支部の赤十字サポーター第1号となりました。以後、定期的な献血協力、店舗への募金箱や寄付金付き自動販売機の設置などにより、赤十字事業を支援してまいりました。

当行はこれからも、赤十字サポーターとして「人間のいのちと健康、尊厳を守る」日赤の人道支援に貢献していきます。

貴重な体験

「皇居・赤坂御所清掃奉仕活動」

県下で昭和24年から今も続く婦人会＝地域赤十字奉仕団の形は、赤十字が掲げる「人道・博愛」の精神や実践からの学びが、婦人会の幅広い奉仕活動と密接に結びついています。特に印象深かったことは、紅葉の輝く秋、新緑の春と2度連続で参加した清掃奉仕活動です。天皇・皇后両陛下と皇太子様へ「山口県赤十字奉仕団」の活動を直接お伝えし「立派な活動をしておられますね。」「お身体に気を付けてこれからも継続してくださいませ。」と優しい眼差しで温かいお言葉をいただきました。心の支えとし、これからも自分ができる奉仕に励みたいと思います。



山口県赤十字
奉仕団委員長

山口県連合婦人会長
藤家 幸子

元幼稚園教諭。山口市内の公立幼稚園全園を青少年赤十字へ加盟登録し、園児と共に「お役に立つ」ことの実践を続ける。退職後は賛助奉仕団へ入団。現在は婦人会を通じて地域奉仕団のボランティア活動に取り組む。

青少年赤十字
(JRC)指導者



防府市立華城小学校長
田中 邦明

小学校教員を38年間、県児童センター、県教育庁学校安全・体育課などを経て現在に至る。スポーツ少年団やクラブスポーツでは35年に渡り指導、平成28・29年度は県小学校長会長を務める。

日赤県支部 設立130周年に寄せて

防府市立小野小学校に先村健二校長先生が赴任されたことを契機に、小野小学校がJRC加盟校となり、私はJRCトレセン指導者としての道を歩むこととなりました。今から30年近くも前のことです。当時は県内はもとより、中国・全国トレセンへと積極的に指導者講習会に参加し、人間関係づくりに役立つ様々なネタを学んだものです。県のトレセンには第1回大会から参加させていただいており、お陰でたくさんの指導者の仲間に出会うことができ、人との繋がりが一番の財産となりました。「気付き・考え・実行する」は、今でも私の実践目標となっています。トレセン…子どもたちがリーダーシップについて学ぶための宿泊学習



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

山口県支部のあゆみと 災害救護の記録

2011年
【平成23年】
東日本大震災

救うことを、つづける

130周年

1942年
【昭和17年】
周防灘台風

2009年
【平成21年】
防府市土砂
災害

赤十字やまぐち
特別号

県民の皆様へ

日本赤十字社山口県支部長 村岡 嗣政



日本赤十字社山口県支部は、明治21（1888）年10月に設立して、今年で130周年を迎えます。この間、日清・日露戦争から第二次世界大戦までにおける戦時救護や災害救護、平時においては、健康と安全を守る救急法等の講習、未来を担う青少年赤十字、医療・血液事業など、人道・博愛の赤十字精神を基調として、幅広い活動を展開してまいりました。

これもひとえに、赤十字の進展に尽くされた多くの関係者のご努力と県民の皆様のご理解とご支援の賜物であり、心からお礼申し上げます。

これからも、「苦しんでいる人を救いたい」という思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守るため、未来に向けて人道支援を継続してまいりますので、今後一層のご支援、ご協力をいただきますようお願いいたします。



山口県支部

ホームページ <http://www.yamaguchi.jrc.or.jp>

Email info@yamaguchi.jrc.or.jp

〒753-0094 山口市野田 172-5 日本赤十字社山口県支部 総務課 TEL 083-922-0102